

UNIVERSITY CONSORTIUM Kyoto



財団 大学コンソーシアム 京都
法人 The Consortium of Universities in Kyoto
URL <http://www.consortium.or.jp>

会 報
2007.10
No.29

P1~2 学びの座談会
「学び」と世代の間にあるものは？

P3~9 第4回頑張ってます！京都の大学・短期大学
新たな改革へチャレンジ！

P10 TOPICS
PROJECT REPORT

P11~12 特集
刮目せよ！この秋、学生が京都を動かす！！

P13~14 京都学術共同研究機構
季刊アカデミア

P15 Information
近日開催予定の行事・イベント



【池坊短期大学】京都市下京区四条室町鶏鉾町

特集

学びの座談会

「学び」と世代の間にあるものは？



本年度の会報の特集は、それぞれのジェネレーションギャップを、学びに対する考え方、捉え方で表現して行きます。前号は、2人の高校生にインタビューをしました。今号は、京都の大学生3人に、高校時代に憧れた大学への思いから、大学生になって2年4か月を経過した現状を踏まえて、率直に語っていただきました。インタビューアは、前回と同じくシチズンシップ共育企画代表の川中大輔氏にお願いしています。

大学は高校までの流れの単なる延長線ではない

川中氏：本日は「大学生と学び」というテーマで話を進めていこうと思います。

早速ですが、最初の質問を皆さんに投げかけましょう。大学入学前、大学ってこういうところだろうなと期待に胸を膨らませていたと思いますが、実際に学生生活を2年と4カ月過ごされて、高校時代に予想した通りだという点と、予想とは違ったという点はどのようなものでしたか。

井出：同志社大学文学部英文学科3回生の井出茜です。私が高校生の時、大学生は自立して自分でやりたい事を決めて取り組んでいると感じていました。でも実際入ってみると、やりたい事を見つけることが凄く難しく戸惑いました。高校生の時は、学ぶことも含めて何でも流れやルールに乗っていれば済んだのに、大学では授業の履修から何もかも自己責任で進めることが多いなと感じました。

藤田：京都大学工学部工業化学科3回生の藤田卓也です。僕は、1学年300人程度の中規模の高校で過ごしたということもあり、1学年3000人の京大は予想通り色々な人がいて、世界が広がりました。予想と違ったのは勉強のレベルが凄く高いということです。中学や高校の勉強の流れの延長戦上に大学の勉強を予想していましたが、その流れをポンと一つ超えたところから始まりました。どんどん専門的な内容が入ってくるというのが予想以上でした。

考えているだけでなく実際に行動するっていう事が大事なかなあとは思いますが。やってみないと分からないということが沢山ありますね。

藤田：やはり「食わず嫌い」は良くないなと思います。何にしても、物事を捉えるキーワードが一つしかないものって多分無いと思います。例えば、経済学の授業だからと教室に行ってみたら、経済学以外の知識も学べたり、別の学問領域の問題を把握する上で参考になる色々なキーワードと出会えたりします。また、新しい興味がわくキーワードが見つかって、これもやってみたいと思う事が結構あります。とりあえずやってみるのが大切でしょう。やらないよりは、やって後悔の方がまだいいかなと思います。



藤田 卓也君

川中氏：気になることは、とりあえずやってみようということが、やりたいことを見つけるためには必要のようですね。

何でもやってみて、やりたいことを見つける

川中氏：先ほど、井出さんからやりたい事を見つけることが難しいという話がありました。これから大学生になる人や大学一年生に向けて、やりたいことを見つけるためのアドバイスはありますか。

森：京都女子大学文学部国文学科3回生の森誠子です。私は大学を選ぶ時に、自分が何をやりたいのか迷いました。でも考えているだけだと何も変わらない。迷って悩んで、どうしたらいいのだろうと思ってても答えは出なかった。だから大学を選ぶためにオープンキャンパスに行きました。



森 誠子さん

学びを将来につなげるためのキーワード

川中氏：大学生生活も折り返し点を過ぎていますが、大学卒業を見据え、自分の将来に向けて、これから学びを深めていきたいと思っているテーマはありますか。

森：入学前は図書館関係の仕事に就きたいと思っていましたが、大学に入って勉強しているうちに変わってきました。自分は国語の教員免許の取得のための勉強をしているのですが、自分が何をやりたいのかと考えていたら、やはり国語というか「言葉」というものに関して興味があるのだと思うようになりました。だから、今後働くにしても勉強するにしても「言葉」に関わることから離れたくないという思いがあります。

藤田：僕は「環境」と「教育」ですね。「環境」と「教育」を関わっていけるものであれば、将来の仕事の業種は何であってもいいかなと思っています。

川中氏：そういう自分の軸となるキーワードが見つかったら、将来のデザインも考えやすくなりますね。

学ぼう!という気持ちが動く授業

川中氏: さて、大学の授業には少人数のゼミもあれば大教室での講義もありますが、それらの中で高校時代までとは違う新鮮な学びはありましたか?

森: 私は、文学作品を読んで研究するイメージが全然掘っていませんでした。感性が大事ではないかと思っていました。でも、ゼミに入って文学研究の勉強をしていく内に、例えばある作品について、その作者の日記に書いてある事と作品を結び合わせてみると、一般的な理解のされ方とは逆の事かもしれないことがあることを知りました。また、作品の同時代の資料を調べて、作品に登場するものが、当時の実際とは違うこともあったりして、そういう色々な事を調べながら作品理解を深めていく作業が面白いという事に気づいたんですね。今はどうやって調べていったらいいか、どうやったらもっと深く作品が読めるのか、興味があります。

川中氏: その面白さに気づいたきっかけは何ですか。

森: ゼミに入ってすぐに先生からある作品の感想を書くように課題が出て、感想文を書いたのですが、授業で指導を受けた後に、自分が最初に書いた感想文をこの前読み返したら、全然読めてなかったなあっていう事が分かった時がきっかけです。自分で色々な事を調べて調べて考えたら、こんなに深く読めるんだって分かった時に、もっと頑張ろうって思います。

川中氏: 昔の自分と今の自分を比べた時に、自分が成長していること気がつく、もっともっと伸びるんじゃないかとも思えるし、もっと伸ばしていかないといけないところも分かるようになるんでしょうね。

藤田: 僕は「有機化学が死ぬほど好き」というタイトルの少人数授業が印象に残っています。その授業で、モーツァルトの音楽を聞くと野菜が早く成長するかどうかという実験をしたのです。実験の結果、モーツァルトを聞かせたほうが早く成長していて、みんなでモーツァルトは凄いなって思っていたら教授が、「お前らしっかりしろよ!」と。教授が、成長促進剤を入れて成長させていたのです。理系というのは自分で問題を見つけて自分で答えを出さなきゃいけないものだから、実験結果が出たからといって、すぐにそれを正解として良いかどうかは限らない。自分で自分を疑う態度が必要だという事を教わりました。これはいい授業だなと(笑)。自分に足りない物を気づかせてくれる事が多かった授業です。もっと深く考えなさいとか、ここまで突き詰めてもいいんだよとかいう事を教えてもらえるというのが大学ですね。

井出: 私は、昨年の夏休みの宿題で、ジャグリングを出来るようになるって宿題が出されたんですね。言語をどう教えるかという授業です。最初、何でこんなことを全員が宿題でやらなければいけないのかと思いました。夏休み明けに披露しながら、できない学生はできる学生にやり方やポイントを教わったり、できる学生の真似をしてみたりして、できるようになっていきました。これが結局、教え方や教わり方の勉強に繋がることがわかりました。大教室の講義で



井出 茜さん

は自分の存在がまだまだ小さいなと思うことがありましたが、ディベートをやったり、全然違う学部の人たちとグループ作って話をしたりして、こういう時には今日授業に来て良かったなって凄く感じますね。また、最初は面白くないと思った授業でも、試験前に一生懸命勉強している内に、この授業は凄く深いなって思って、そこで初めてその授業の面白さに気づくことも凄く多いです。

川中氏: 実はよく考えたらこの授業の内容は深いと思う事は多くあるのですか。

森: しょっちゅうです(笑)。

藤田: 大学の授業は難しいので、分からないまま終わっちゃったりすることもあります。だから、授業以外の場面で教科書開いて読んだりとか、自分なりに勉強することがすごい問われている気がします。

「学びの充実度」を100%にするためには?

川中氏: 最後の質問になりますが、みなさんの現在の「学びの充実度」は何%ですか?

森: んー、65%。

藤田: 僕は95%ですかね。

井出: 私も80から85%ぐらい。

川中氏: それぞれパーセンテージを教えてくださいましたが、それはなぜですか。また、残された学生生活で100%に近づけるために何をするのか、この二つを教えてください。

森: 大学で学べる事がまだ足りてないと思ったので低くしました。大学以外のところではすごく学べてるかなと思っています。なので、残り35%の内30%くらいは大学での「学び」を充実しなければいけないという理由で、あと5%は学ぼうという意欲が足りないかもしれないって思ったからです。

藤田: 僕は実験が好きなのですが、大学でいよいよ実験が始まって充実してきたと感じています。また課外活動でも学生祭典*の準備が毎日ある上、将来に向けて今これをやらないといけないうとか、自分なりに考えたり出来ているので満足はしています。足りない部分は、自分が「食わず嫌い」って言いましてけど、まだ興味を持っていないけど、面白いことが、自分のまだ知らない所にあると思うので、その余地を残しておきたいという意味で95%としました。

井出: 私は、学生祭典の準備や友達と話したりするような、日々の生活の中でも常に学びがあるんじゃないかと思って、この評価をつけたのですが、自分のなりたい夢に向かってやらないといけないう事、やりたい事はまだまだ沢山あるので100%には到達しないかなというのが今の状態です。これから自分の夢のために、学校で専門的な知識を学ぶことに加え、人と接する機会を増やして人と上手に付き合えるスキルを磨いていきたいと思っています。

川中氏: 残された学生生活はあっという間に過ぎるものでしょう。常に「あと何ヶ月」ってカウントして、どれだけ充実度があがったのか、自分は何をやりたいのか、やらないといけないうかを意識して欲しいなと思います。

今日三人のお話を伺って「食わず嫌い」せずに飛び込んでみようという姿勢が印象的でした。先日、亡くなられた作家の小田実さんの代表作は『何でも見てやろう』という海外紀行文なのですが、この「何でも見てやろう」という貪欲な気持ち、そして、自分が気になったものは無差別に受け入れるという姿勢が大学で学び、研究する上で重要なかなと思いました。今日は長い時間、ありがとうございました。



* 学生祭典…学生祭典とは、「京都学生祭典」のことで、毎年秋に京都の岡崎地区・平安神宮で開かれる学生プロデュースのお祭り。今年で五年目を迎え、企画の立案から広報・経理・資金集め・当日の運営など、学生が全てを担っている他地域には例を見ない面白いお祭りです。今年のテーマは「新たな京都の伝統祭りへ」です。いよいよ五年目ですので本当の意味で京都に根付いた伝統のお祭りと言われるようなお祭りにして行こうという意気込みをその言葉に表しています。(藤田)



川中 大輔(シチズンシップ共育企画代表)

1980年生まれ。ファシリテーター。立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科修士課程修了。野外教育や不登校児童支援に取り組むNPO法人ブレン・ヒューマンティエー副理事長、社会事業家支援に取り組むIHOOE[人と組織と地球のための国際研究所]フェロー、(財)大学コンソーシアム京都研究主幹などを経て、(財)大学コンソーシアム京都リエゾンオフィスアドバイザー。「学ぶこと」と「社会にかかわること」の両方のおもしろさを感じる「学びのデザイン」に関心を寄せている。2001年から全国各地でNPOマネジメント研修や市民教育ワークショップ、教育ファシリテーター育成を担当。大阪経済大学大学院兼任講師、大阪成蹊大学芸術学部非常勤講師ほか。

[校正:編集補助 平成19年度インターンシップ実習生 出雲井麻衣]

第4回頑張ってます! 京都の大学・短期大学

新たな改革へチャレンジ!

大学コンソーシアム京都の加盟大学・短期大学の変化を追うこのコーナーでは、

2008年度に学部、学科を新しく設置する大学・短期大学、
改組改名を行なう大学・短期大学をピックアップいたしました。

今回は、13大学・短期大学を取り上げてご紹介いたします。

次号も引き続き新たな改革へチャレンジする大学・短期大学をピックアップする予定です。

既存の魅力ある学部・学科等は、各大学・短期大学の
ホームページが各大学・短期大学にお尋ねください。

池坊短期大学

学 科 文化芸術学科

コース ブライダルプランナーコース **新 設**

近年、ブライダル産業へのニーズが高まっています。それゆえ、結婚式や披露宴というセレモニーを総合プロデュースするブライダルプランナーには、幅広い専門知識と優れたセンスが求められています。このコースでは、実際にブライダル関連業界の第一線で活躍している講師を起用し、理論や知識を基に、より専門的で実践に即した美的センスやマナー、技能を磨きます。在学中にBIA認定アシスタント・ブライダル・コーディネーターの資格取得を目指します。



コース フラワー・マネジメントコース **新 設**

いけばなやフラワーアレンジメントなど、花を用いた表現の多彩なテクニックを身につけるとともに、植物学的なアプローチによって花の資質を深く学びます。花材の流通や店舗経営のノウハウなど、ビジネスに直結する知識を修得することによって、「花が好き」という気持ちを仕事に生かす道を見出します。NFD(日本フラワーデザイナー協会3級)の取得をサポートし、豊かな感性と実践的な知識をもって、フラワービジネスの第一線でプロとして活躍できる人材を目指します。



学 科 環境文化学科

コース 製菓クリエイトコース **新 設** (設置認可申請中)

本学における必修科目である茶道・華道を通じ、お菓子作りの分野に欠かせない文化・教養、そして「もてなし」の心を養います。さらにその上で、接客対応、商品ディスプレイなど、現場ですぐに役立つ知識や技能を身につけ、パティシエ(洋菓子職人)、プランジェ(パン職人)、和菓子職人になるための充実したカリキュラムと施設を設置し、卒業後に国家資格「製菓衛生師」の受験資格を得ることを目指します。



京都学園大学

学部 人間文化学部

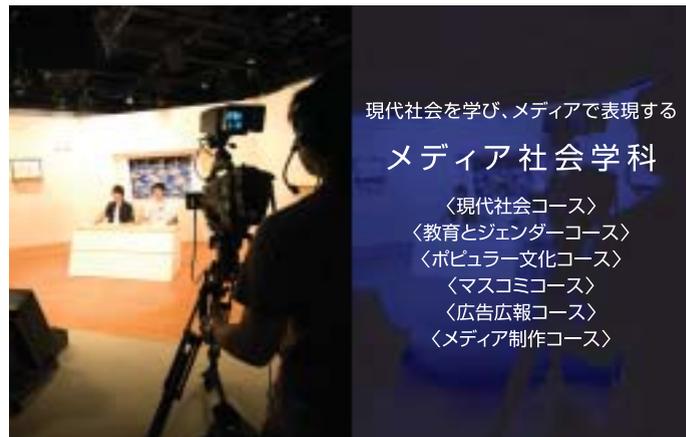
学科 心理学科 **新設**

メディア社会学科 **新設**

歴史民俗・日本語日本文化学科 **新設**

人が好き、人間に興味がある、もっと心を知りたい、社会を知りたい、歴史を学びたい、人と人をつなぐメディアのことを学びたい。「人」を中心に広がる学びのジャンルは、ますます多種多彩になってきました。人間文化学部はそのような時代の要請に応え、2008年度から3学科体制に新しく生まれ変わります。

心理学科、メディア社会学科、歴史民俗・日本語日本文化学科。さらに専攻、コースで学びのバリエーションを広げるとともに、それぞれの分野で専門性を高め、一人ひとりの「学びたい」に応えます。



現代社会を学び、メディアで表現する

メディア社会学科

- 〈現代社会コース〉
- 〈教育とジェンダーコース〉
- 〈ポピュラー文化コース〉
- 〈マスコミコース〉
- 〈広告広報コース〉
- 〈メディア制作コース〉



脳から心の深層まで、
こころの世界の探検が始まる

心理学科

- 〈心理学コース〉
- 〈臨床心理学コース〉

歴史と日本語から日本文化を究める

歴史民俗・ 日本語日本文化 学科

- 〈歴史民俗学専攻:歴史コース〉
- 〈歴史民俗学専攻:民俗コース〉
- 〈日本語日本文化専攻:日本語コース〉
- 〈日本語日本文化専攻:日本文化コース〉



京都光華女子大学

学部 文学部

学科 国際英語学科 **改名**

英語コミュニケーション・

児童英語コース **改編**

国際ビジネスコース **新設**

「国際ビジネスコース」を新設し、学科名を「英語英米文学科」から「国際英語学科」に改名します。「国際英語学科」のモットーは「受験偏差値より、卒業偏差値を！」で、大学4年間で自分を見つけ、自分を磨くことです。京都光華英語力強化プログラム(KEEP)で入学から卒業まで一貫して英語力を向上させ、「国際観光文化コース」や「国際ビジネスコース」で社会で役立つ実学を学びます。また、児童英語の分野を新たに加えた「英語コミュニケーション・児童英語コース」では幼稚園児や小学生に英語を教えるノウハウが学べます。協定校の通信教育を利用して、小学校の先生になれる制度もできました。



学部 人間科学部 **改名**

学科 健康栄養学科 **改名**

「人間関係学部」では学部名称を「人間科学部」と改名し、教育目標を「人が健康で豊かな生活をおくることができる社会の実現」と発展させるとともに、入学前から、在学中、卒業後までを一貫してサポートする京都光華の「エンロールメント・マネジメント」に取り組み、学生一人ひとりの自主性の育成を目指した支援体制を整えます。併せて「人間健康学科」を「健康栄養学科」と改名し、管理栄養士養成施設として、「光華方式 国家試験対策システム」をさらに充実させるとともに、スポーツ分野でも活躍できる人材育成のためのプログラムも強化。「健康運動実践指導者取得」の支援も行います。



京都光華女子大学短期大学部

学科 ライフデザイン学科

- ・フードフィールド **新設**
- ・ブライダル・観光ビジネス・
医療秘書各ユニット **新設**

京都光華のオリジナル教育システムの学習分野・テーマに「フード」「ブライダル」「観光ビジネス」「医療秘書」が加わります。製菓店やブライダルショップ、旅行会社、医療機関など将来の夢がさらに広がります。



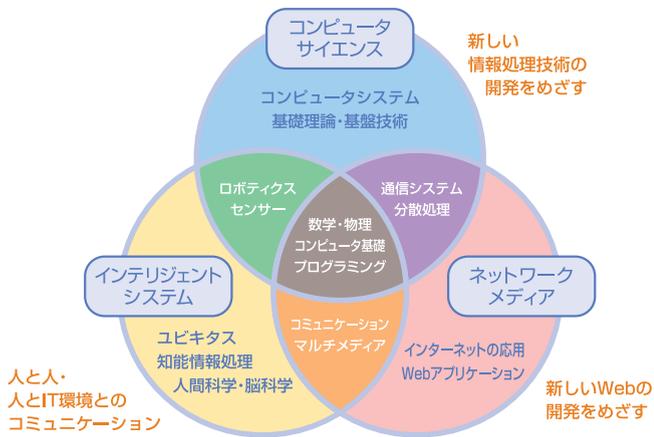
京都産業大学

学部 コンピュータ理工学部 **新設**

学科 コンピュータサイエンス学科 **新設**
 ネットワークメディア学科 **新設**
 インテリジェントシステム学科 **新設**

2008年4月に開設予定のコンピュータ理工学部は、情報処理技術のベースとなる数学・物理学やプログラミング、コンピュータの基礎などを3学科共通の基礎として学習。豊富なプログラミング演習や多くの実験・演習科目を必修としてカリキュラムに設け、プログラマーやシステムエンジニアに必須のスキルを全員が着実に修得。コンピュータ応用技術、ネットワーク利用技術、ユビキタスやメカトロクス技術などを身につけIT社会の未来を担う人材の育成をめざします。

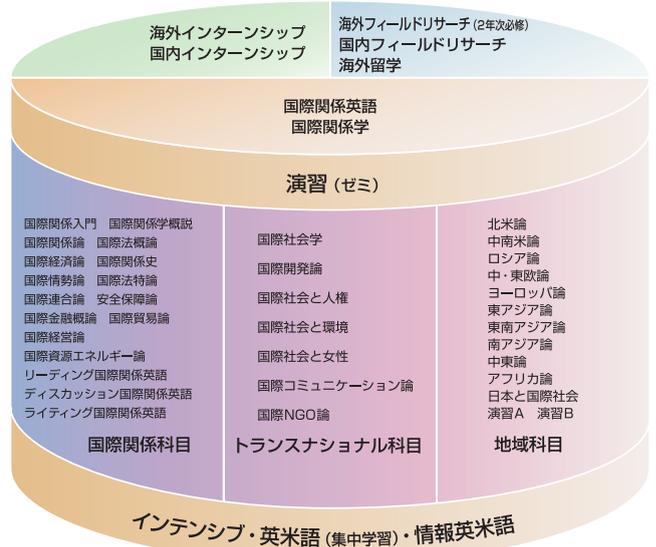
コンピュータ理工学部 NEW
 2008年4月開設



学部 外国語学部

学科 国際関係学科 **新設**

従来の言語系5学科4専修に、国際関係学科が加わることで、外国語部品の学問領域は拡大します。言語と文化、そして国際社会の仕組みや国際情勢など、より幅広く学べるよう、6学科4専修が連携したカリキュラムを編成。人文科学系の学部社会科学系の学科を置くことで、新学科だけでなく、既存の学科・専修においても学びが充実する相乗効果が期待できます。進化した外国語学部は、言語のスペシャリストや国際関係のエキスパートとして世界で活躍できる人材の育成をめざしていきます。



京都橘大学

学部 現代ビジネス学部 **新設**

学科 現代マネジメント学科 **救急救命コース 新設**
 都市環境デザイン学科 **新設**

2008年4月開設の現代ビジネス学部(文化政策学部より名称変更)では、「ビジネス」が対象とする領域を広くとらえ、企業だけでなくコミュニティービジネスや公共ビジネスをも含む、新たなフィールドを開拓します。現代マネジメント学科では、一般企業だけでなく、医療施設・病院、福祉施設の最新の経営学、組織と仕事のマネジメントを学びますが、さらに、救急救命コースを新設し、救急救命士養成課程を開設する予定です。医療の高度化・複雑化に対応し、救急医療のマネジメント分野で活躍する人材を育成します。新設する都市環境デザイン学科(文化政策学科を改組)では、都市の暮らしの環境や生活の質向上のために必要となる建築・インテリア、観光・ツーリズム、芸術文化支援や文化施設運営に関する知識とスキルを身につけます。建築・インテリアコースでは一級建築士養成課程を開設予定です。

現代マネジメント学科で救急救命士を養成



都市環境デザイン学科で一級建築士を養成

研究科 看護学研究科看護学専攻修士課程 **新設**
 (専門看護師コース・研究コース)

21世紀を迎え、今後ますます複雑化、高度化する看護へのニーズに対応するために、2008年4月、大学院に看護学研究科看護学専攻修士課程を開設し、専門的知識・能力を備えた看護職者、看護管理者、看護教育者等を育成します(設置認可申請中)。2005年4月に開設された本学看護学部では、豊かな人間性と幅広い教養を育み、ヒューマン・ケアリングの実践者として、将来的に実践・教育・研究の領域においてリーダーシップを発揮できる基礎的能力を備えた看護職者を育成しています。看護学研究科では、さらに優れた研究者・教育者または専門看護師(CNS)など高度な専門的知識・能力を養成するためのカリキュラムを編成しています。研究科では、長期履修制度による修業年限の延長、そして夕方や土曜日、または集中的な授業開講・教育研究指導により、社会人が働きながら履修できるように支援します。



充実した学内施設で実践力を養成

京都府立大学

2008年4月京都府立大学が生まれ変わります。

学部構成を、文学部、公共政策学部、生命環境学部とし、人文科学、社会科学、自然科学を基礎とする学問分野に、それぞれ改編し、総合的で先端的な教育・研究を推進します。

学部 文学部

3学科共同で京都の文化・歴史などに関する総合的な「京都文化学コース」を設置し、京都を文化的側面から捉えた教育・研究を展開します。

学科 日本・中国文学科 新設

日本文学・日本語学・中国文学の3分野について、本格的な知識を身につけることができる上に、和漢比較文学のような複数の分野にまたがる科目も設け、多角的な視点を持って学ぶことができます。

学科 欧米言語文化学科 新設

言語による異文化理解と欧米文化との比較研究を通じて、京都文化への理解と海外に発信する実践教育（英語コミュニケーションプログラム）を進めます。

学科 歴史学科 新設

「日本史・日本文化史」、「東洋史・東洋文化史」、「西洋史・西洋文化史」に、新たに歴史遺産の保存・活用を考古学や歴史地理学、歴史情報の方法を用いて考える「文化遺産学」コースを関西の国公立大学では初めて設置します。

学部 公共政策学部 新設

学科 公共政策学科

「公共政策」の基礎となる法学、経済学、政治学等の修得、1回生から4回生に至るまでの充実した演習科目を通じて、地域に学び、地域に活かす生きた政策立案と政策運営の力を身につけます。

学科 福祉社会学科

■社会福祉コース
社会福祉士の受験資格取得に加えて、精神保健福祉士の受験資格が得られる課程を設けて、充実を図ります。

■人間形成コース
子供・青少年・地域住民の発達と社会化、主体形成に重点を置く系統的な授業科目を学びます。

学部 生命環境学部 新設

学科 生命分子化学科

生命科学の基盤となる「化学」を重点的に学び、1)分子レベルでの生命現象や生命環境の解明、2)有機合成やバイオテクノロジーによる分子センサーや分子デバイスの開発、3)生態環境における物質の分析・評価など最先端の研究を通じて、広範囲かつ高度な知識と技術を習得します。

学科 農学生命科学科

ゲノムからエコシステムまで、最先端の生物学を学び、そのなかで持続可能な農業・食料生産の道を探ります。

■植物生産科学コース
環境と生物の多様性を農業生産技術に活かします。

■生物機能科学コース
食料生産に関わる生物の機能を探り、利用します。

学科 食保健学科

食の安全性・栄養機能・官能特性・健康増進機能などについて、分子から人までを対象として幅広く学び、少人数教育で管理栄養士受験資格、教職（家庭・栄養教諭）免許、食品衛生監視員の資格などが取得できます。

学科 環境・情報科学科

「応用生物学」、「材料設計学」、「環境計測学」、「情報環境学」、「応用数学」の5つの主コースと学際副コースを設け、サイエンスを生活の向上に生かせる「視野の広い理系スペシャリスト」の養成をめざします。

学科 環境デザイン学科

「居住環境」、「史的住環境・意匠」、「都市・建築・インテリア」、「建築環境・設備」、「建築構造・材料生産」、「生活デザイン」、「ランドスケープ」の専門分野があり、これらの専門教育科目を様々な組み合わせで、多様なカリキュラムによる生活者や技術者の視点からの教育を行うとともに、一級建築士資格取得のための技術教育を大幅に強化しています。

学科 森林科学科

従来の林学から脱皮し、森林圏を中心として、山を守り、樹を育て、木質資源を利用することで、地球環境問題や山地を中心とする自然災害の防止に取り組むとともに、生産物の円滑な利用による山村の活性化、化石資源の一部代替化などをめざす総合科学に生まれ変わります。

(資格に関しては申請のものもあります。)

京都文教大学

学部 臨床心理学部 新設

学科 臨床心理学科 新設

1996年度の開設以来、心理学の高度な専門知識を備え、社会に貢献できる人材を育成してきた人間学部臨床心理学科は、2008年度より臨床心理学部臨床心理学科として生まれ変わります。臨床心理学部の教育の特色は、臨床心理学の専門家だけでなく、臨床心理学の知識や技術を活かして社会のさまざまな領域で活躍できる人材を育てることにあります。とりわけ、豊かなコミュニケーション能力の育成を重視し、カリキュラムの再編など新たな教育・指導体制を整備。臨床心理学の教養をベースに、広い視野のもとで他者や社会と生きた関わりを持てる人材の育成を目指します。



5つのコース

○生命・医療コース

心理学的手法でいのちの営みにアプローチ。

臨床心理学は精神科医療の実践の中で生まれてきたものですが、現代では医療の枠組みを超えて、一人ひとりの「いのちの営み」全体に関わるようになってきました。このコースでは、誕生から死にいたるまで、「いのち」をより輝かせるための心理的援助のあり方を学習します。

○子ども・青年コース

子どもたちの成長をこころの面から支える方法を探究。

このコースでは、学校・養護施設・療育機関など、地域社会の様々な場所で生きている子どもや青年に対して、心理学を活かしながら、どのように支えていくのかについて考えます。いままさに青年期を迎えている学生にとっては、自分の生き方を考えるきっかけとなる学びです。

○コミュニティコース

コミュニティの中で悩む人に対する援助のあり方を考える。

個人とコミュニティ（集団・組織・地域社会）の関係を考察し、よりよい生活を実現させるための方法について学習します。とくに障がいや病気を抱えながら地域社会で生活する人々や、子育てで悩む母親、組織・企業の中で人間関係等の問題でストレスを抱える人々の支援を中心に学びます。

○ユング心理学コース

ユング心理学の理論をベースに、人間のこころを追究する。

ユング心理学は夢やイメージを扱う実践的な臨床心理学です。このコースでは、ユング心理学の理論をベースに人間の行動・思考の基本的なパターンの礎といわれる「元型」やパーソナリティ、親子関係、文化、象徴について、映画、アニメ、オペラ、漫画、音楽、絵画などを素材に研究します。

○心理学総合コース

臨床心理学に関わる多様な領域の理論や技術を幅広く学ぶ。

臨床心理学の基礎的な理論や方法を学ぶほか、従来の臨床心理学の枠組みを超えたトピックスについても学習。フロイトやユングの理論、芸術療法、さらにはインターネットなどにもアプローチします。研究論文作成力や英文読解力といった研究活動に必要な基礎力の養成を目指します。

同志社大学

学部 生命医科学部 **新設**

学科 医工学科 **新設**
 医情報学科 **新設**
 医生命システム学科 **新設**

医療や福祉、健康など「生命」への関心が高まっています。同時に、健康寿命の延長や医療・介護の社会的負担軽減といった多様な課題の解決が求められています。こうした現代社会の要請に応えるため、同志社大学は2008年度に生命医科学部を開設いたします。これまでの工学研究で培った知識とノウハウをもとに、医学や基礎生物学などを融合させることで、多角的に医療とヒトに貢献できるプロフェッショナルを育てます。

学部 理工学部 **再編**

学科 機能分子・生命化学科 **改組**
 化学システム創成工学科 **改組**
 数理システム学科 **新設**

同志社大学は、これまで工学部で培ってきた理工系教育・研究の実績をもとに、さらに未来社会に求める多様な理工系人材を輩出していくという使命を明確にするために、学部名を新たに「理工学部」といたします。あわせて、学科構成・内容についても、これからの理工系教育・研究にふさわしいものとして整備充実させ、科学技術の革新を創出できる創造性豊かな理工系人材の育成を目指します。

学部 スポーツ健康科学部 **新設**

ライフスタイルの変化や高齢化社会の影響で、スポーツによる健康の獲得や生活の質(QOL:Quality of Life)の向上が求められています。同志社大学は、2008年度にスポーツ健康科学部を開設し、多角的かつ科学的な視点からスポーツ・健康を学び、現代人が抱える「心とからだの問題」の解決に向けた方向性やプランを、社会に提案・提言していく人材を育てます。総合応用科学としての「スポーツ健康科学」の3つのコースを履修モデルとして、実践的に研究を深めていきます。



成安造形大学

クラス 芸術文化デザインクラス **新設**



ポイント1

芸術文化をからだで体験

フィールドワークを通して、日本文化を深く学び、芸術文化と地域社会の架け橋となり、21世紀の社会をデザインする人材、いわゆる文化のコーディネーターを育てます。芸術文化が持つ力とは何か、またそれを創造してきた人間と生活とは何かを考え、同時に芸術的感性を磨くことで、知的、文化的な心を養います。

ポイント2

デジタルメディア機器を自由に操りコミュニケーション能力を高める

日本の芸術文化をコンテンツとして、文化事業の企画運営にとどまらず、それを広く伝達する技術・手法をコンピュータを使って学びます。

- ・Photoshop・Illustrator等の画像編集ソフト
- ・Dreamweaver等のWeb編集ソフト
- ・Excel・Word・PowerPoint等のオフィス基本ソフト
- ・デジタルカメラ・デジタルビデオカメラの操作

ポイント3

セイアン・パーソナル・プログラム(SPP)による徹底した個人指導

各学期に担当教員と面談を重ね、個人のニーズや適性にあった自分だけのプログラムをつくっていきます。将来の方向性が決まるまで、徹底的に個別指導が行なわれます。また、このクラスには専用のコミュニケーションルーム(DACルーム)が用意されさまざまなコミュニケーションの場として活用されます。

将来の
進路や資格

進路

芸術や文化の普及・企画に関わる職種、文化関連NPO法人スタッフ、雑誌出版社、広告代理店、美術館・博物館スタッフ、編集者(エディター)、アートプロデューサー、公務員(芸術文化行政、文化施設運営、観光行政、地域計画)、観光・旅行業界、文化産業・伝統産業などの小売業の企画・販売、その他一般企業など

資格

博物館学芸員

聖母女学院短期大学

学 科 生活科学科

専 攻 生活福祉専攻 **新 設**

心と心が通い合う、福祉の道へ

生活福祉コースでは、子どもから高齢者まで多様なくらしの環境を生活の視点から理解し、社会の変化や広い視野で人間関係を捉える力、豊かなコミュニケーション能力を養成。さらに真に快適なくらしの実現のため、人々のQOL（生活の質）を高めるための知識と技術を身につけます。介護福祉コースでは、介護福祉の提供者としてのみならず、「介護予防からケアマネジメント」まで幅広い分野で活躍できる質の高い専門職を養成。将来の社会基盤作りに貢献できる介護福祉士をめざします。



学 科 生活科学科

専 攻 生活科学専攻

コース 情報ビジネスコース **新 設**

コンピュータを暮らしに活かす、仕事に活かす

コンピュータを操作する技術はもちろん、実際のビジネスシーンを想定し、ビジネスソフトの使い方にとどまらず、マーケティングからプレゼンテーション能力など実際に役立つ知識と技術を身につけます。さらに将来の起業に役立つ経済学・経営学科目や実体験の場としてインターンシップも実施します。一般企業への就職に重点を置き、就職に役立つ資格取得を目標にする授業や編入学へのサポートも充実させ、希望する進路へとつなげていきます。



花園大学

従来の文学部3学科から5学科に増やし、細分化することで、内容はより専門的に、指導はさらにきめ細やかに。日本史学科では、古代史から近現代史までの日本史の全ての時代について研究することが可能です。また文化遺産学科では、考古学・民俗学・美術史・博物館学などの、日本の文化遺産に関するほぼ全ての分野について研究することができます。日本文学科と創造表現学科では、純粋な国文学から日本が世界に誇るマンガまで、日本が培ってきた様々な分野の文学・文化を学ぶことができます。



学 部 文学部

学 科 文化遺産学科 **新 設**

美術史・考古学・民俗学を総合的に、なおかつ徹底的に学べる学科です。研究の舞台、対象は、世界的な都市「京都」。遺跡や遺物、美術作品、工芸品、民俗芸能、風俗習慣など、京都の文化遺産の実物に囲まれ、実際にふれながら研究することができます。一流の専門家である講師陣がナビゲーター役を務めるフィールドワークも本学科の特長のひとつ。京都をすみずみまで体験し、その魅力を広く、深く知ることができます。貴重な文化遺産の保存の仕方や、研究結果・成果を後世に伝える力を見につけられるのです。

学 科 創造表現学科 **新 設**

現代の日本の文化は、日々、目まぐるしく進化し続けています。たとえば、映像の分野ではアニメや映画、ビデオなどのメディアが、画像の分野ではマンガなどが発展し、ほかにも複数の表現分野が融合した形式のものなどが登場しています。本学科では、映像、画像、身体、言語の4つの表現分野からとらえ、総合的に読み解いていくことができます。興味・関心をもっている事柄を学問として研究し、広く深い知識を得るとともに、研究を通して自己を表現する力を高めていくこと、映像・情報メディア・ジャーナリズム関係、各種サービス産業などの分野にも通用する能力と自信を身につけることが創造表現学科の目的です。

学 科 日本史学科 **改 名**

学 科 日本文学科 **改 名**

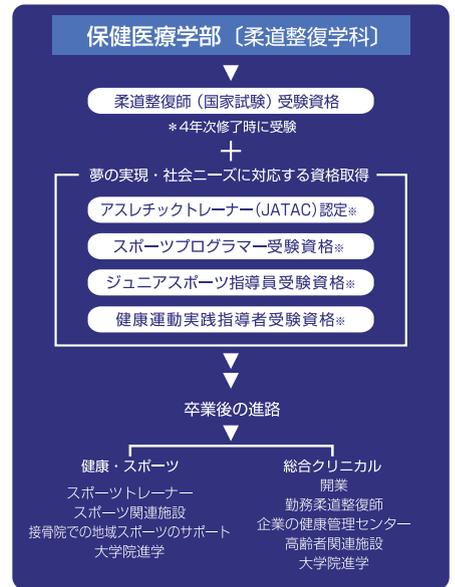
大学名が「明治鍼灸大学」から「明治国際医療大学」に変わります。

- 学部 鍼灸学部
- 学科 鍼灸学科
- 学部 保健医療学部
- 学科 柔道整復学科
- 学部 看護学部
- 学科 看護学科

本学が掲げる「和の精神をもとに、東西両医学を有機的に関連づけて、社会に貢献できる医療人を育成する」この建学の精神はそのままに、国際性を身につけた医療人の育成を視野に入れ、新たな大学名で再スタートします。

現代は、めぐるましく、しかも急速に変化する時代です。近年、日本が直面している国際化、情報化、高齢化、少子化、地球規模の環境問題などの多様な変化にこれからの人々は柔軟に対応できなければなりません。そんな社会に医療の立場からグローバルに貢献できる人間を育成したい。

このように明治国際医療大学では、開学当時と変わらぬ姿勢で、これからも時代の一步先を見据え、社会のニーズに応えるべく進化を続けてまいります。



*資格については、各認定団体に申請中です



本学では、2008年4月より新カリキュラムを導入し、「はり師」「きゅう師」及び「柔道整復師」免許の取得はもちろん、鍼灸医学及び柔道整復学のリーディングユニバーシティとして、優れた鍼灸師・柔道整復師の養成、指導的人材の育成を目指すコアカリキュラムを準備しています。今回導入する新カリキュラムでは、コアカリキュラムに加え、アスレチックトレーナー、スポーツプログラマー、健康運動実践指導者など、将来の活躍の場を広げる資格取得を支援します。これにより、有資格者としての鍼灸師・柔道整復師の活躍の場はますます広がります。

- 学部 生命科学部
- 学科 応用化学科 **移設・新展開**
- 生物工学科 **移設・新展開**
- 生命情報学科 **移設・新展開**
- 生命医科学科 **新設**

生命・生物とはなにかという究極の課題に迫る、そしてまた人類が直面しているエネルギーや環境などの重要な課題に迫るのが、立命館大学生命科学部です。

材料・エネルギーなどを対象とする応用化学分野に加え、生体物質などを対象とする生命化学分野にアプローチする応用化学科。化学の視点から生物の構造や機能を解明し、バイオテクノロジーの新たな領域に挑む生物工学科。生命科学と情報科学を融合したバイオインフォマティクスで生命現象の解明をめざす生命情報学科。そして基礎生物学および基礎医学研究により疾病の早期診断法や予防法の開発に取り組む生命医科学科。これらの4学科がそれぞれの専門領域を追求するとともに、お互いに連携、融合した教育・研究を行います。



- 学部 薬学部
- 学科 薬学科 **新設**

ゲノム創薬やテーラーメイド医療など、遺伝子レベルの研究が進むにつれて、医療・医薬品分野は大きく様変わりしています。また、薬剤師が医師や看護師などと同じように「医療の担い手」として臨床現場で医療チームの一員として活躍することが求められています。立命館大学の薬学部では、こうした時代の動向に対応して、高度な専門知識と技術を備えた薬剤師の育成をめざします。また薬剤師養成のための実務教育にとどまらず、本学のこれまでの自然科学系研究の蓄積を背景とした質の高い教育を推進するとともに、生命科学部と連携し、ハイレベルな医薬の専門家を養成します。

生命科学部4学科と融合したカリキュラム

生命科学部と連携したカリキュラムを編成し、医療薬学や基礎薬学のみならず生命科学に関わる幅広い知識も身につけます。



高等教育研究推進事業部

TOPICS

高等教育研究事業

◆第1回FDセミナーを開催しました。

【テーマ】FDのリーダーとなるために
【開催日】2007年7月14日(土)

FDの義務化への対応が始まっている中で、FDのリーダーをどう育てるのか、どのようなFDを展開していくのかについて、愛媛大学の佐藤浩章氏と同志社大学の圓月勝博氏からの報告を受け、参加者とともに意見交換をしました。当日は全国から118名が参加しました。



高大連携事業部

TOPICS

高大連携事業

京都の大学『学び』フォーラム2007

◆京都の大学『学び』フォーラム2007 京滋会場

【日時】2007年6月17日(日)9:30~17:00
【会場】キャンパスプラザ京都
【主催】財団法人大学コンソーシアム京都
【共催】京滋私立短期大学協会
【参加者数】503名



◆京都の大学『学び』フォーラム2007 名古屋会場 (ライオン企画『大学フェア2007』に特別参加)

【日時】2007年7月8日(日)11:00~16:00
【会場】吹上ホール
【主催】東海テレビ放送
【制作協力】フジテレビジョン
【企画運営】ライオン企画株式会社
【特別参加】財団法人大学コンソーシアム京都
【参加者数】2,688名

◆京都の大学『学び』フォーラム2007 東京会場 (ライオン企画『大学フェア2007』に特別参加)

【日時】2007年7月14日(土)10:00~16:00
【会場】日本武道館
【主催】フジテレビジョン・産経新聞社
【企画運営】ライオン企画株式会社
【特別参加】財団法人大学コンソーシアム京都
【参加者数】10,149名



◆京都の大学『学び』フォーラム2007 大阪会場

【日時】2007年7月21日(土)9:30~15:00
【会場】天満研修センター
【主催】財団法人大学コンソーシアム京都
【共催】大阪府教育委員会・大阪私立中学校高等学校連合会
【参加者数】528名

◆京都の大学『学び』フォーラム2007 福知山会場

【日時】2007年9月30日(日)11:00~16:30
【会場】京都創成大学
【主催】財団法人大学コンソーシアム京都
【共催】京都高大連携研究協議会

リエゾン・共同研究事業部

TOPICS

リエゾン事業

◆大学地域連携モデル創造支援事業

大学と地域が一体となったまちづくりや地域の活性化を目的とする事業を募集し、選考のうえ2007年度助成対象事業を認定しました。

【募集期間】4月27日~6月1日
【応募件数】30件
【採択件数】10件

【認定式】7月10日に京都市役所において認定式を開催し、上原任京都市副市長から各事業の代表者等へ認定証が手渡されました。



◆第1回リエゾン担当者連絡会議

各大学のリエゾン担当者等を対象として、第1回連絡会議を開催しました。各大学の近況報告のほか、京都府から大学・地域連携推進事業の説明が行われ、府内自治体から大学への連携希望案件についての紹介がありました。

【日時】7月31日 14:00~16:00
【場所】キャンパスプラザ京都2階 第1会議室



共同研究事業

「京都市学」「21世紀学」「都市政策」の3分野において共同研究推進、研究資源の公開、研究成果の発表、研究支援事務体制の構築、若手研究者の育成などを行っています。また、地域社会や市民への知の還元・情報発信を行う目的で「プラザカレッジ講座」の開講や「京都アカデミア叢書」の発行など様々な取り組みを行っています。

◆プラザカレッジ京都学講座「みやこの遊び」

京都府・京都市の後援で「みやこの遊び」と題し、平安時代より貴族から武家や公家、庶民層の間で創造・伝承されてきた「遊び」について、様々な「遊び方」の解説だけでなく「遊び」のもつ歴史や文化・背景について解説。2007年5月13日(日)から8月26日(日)にかけて全10回実施し、延べ980名の受講生が受講しました。



学生交流事業部

スポーツ事業

◆大学コンソーシアム京都スポーツ教室の中間報告(7/1~9/2まで)

日時	教室名	開催大学名	延べ人数
7月 1日(日)	卓球教室	立命館大学	46名
7月 8日(日)	エンジョイ!サッカー	同志社大学	26名
7月21日(土)	親子で楽しむサッカー教室	京都外国語大学	10組22名
	バスケットボール教室	京都産業大学	64名
7月22日(日)	親子で楽しむサッカー教室	京都外国語大学	13組25名
	バスケットボール教室	京都産業大学	59名
7月30日(月)	チャレンジ!コンビネーションなわとび	京都教育大学	39名
8月 5日(日)	親子レガッタ(ボート)教室	立命館大学	7組14名
9月 1日(土)	親子で楽しむニュースポーツ!	京都外国語大学	中止
9月 2日(日)	親子で楽しむニュースポーツ!	京都外国語大学	7名

京都市環境局でのインターン実習生インタビュー 大学生の夏休みの学び



大学コンソーシアム京都が実施するインターンシッププログラムには今年も多くの方が参加しています。学生はこの夏、企業や行政機関など様々な現場で実習を行いました。

今回、京都市環境局循環型社会推進部・循環企画課で実習をした今野智紀さんにインタビューをしました。

Q.京都市環境局でのインターンシップ実習を希望したのはなぜですか?

A.ゼミで環境問題と法律について学んでいたりと、ボランティア活動で不法投棄の回収をしたことがあり、ごみに関心がありました。そこで環境問題について政策はどのようにしているのか学びたいと思い、行政での実習を希望しました。

Q.実習ではどのようなことをしましたか?

A.事務的な作業からHPの更新、ごみ減量審議会への参加、資源ごみの回収、など課全体の様々な業務を体験しました。

Q.1ヶ月の実習期間を通して成長した部分や今後活かせることはありますか?

A.期間が長いとそれぞれの課の仕事を細かく学ぶことができ、知識を深められ今後の学習にもつなげられそうです。さらに国単位での政策についても学びたいと思います。



Q.実習を通して一番自分にとって大きかった経験は何ですか?

A.市民の立場では出来上がった政策を知らされるだけですが、ゼロから企画を立ち上げていく現場を体験できました。ごみ減量について進行中の業務や今後の方向性も学べたことが大きかったです。

興味のある分野において実際に働くことで広く深く学ぶことができるインターンシップは今後の進路を考える上で貴重な経験となっているようです。長期休暇は普通の授業とは異なる体験型の学習ができるチャンスでもあります。

お忙しい中インタビューに協力していただいた京都市環境局の皆様、今野智紀さん、ありがとうございました。(出雲井 麻衣)



第5回京都学生祭典

“この感動、見逃せない!”



企画、運営からすべて学生がプロデュースするお祭「京都学生祭典」。

第5回は、これまで先輩方が築き上げてきた伝統を引き継ぎながら「新たな京都の伝統祭へ」をコンセプトに、地域に根ざした他にはない祭を創りあげていきます。

今年は、祭典の象徴となるオリジナル創作みこし「京炎みこし」も登場し、祭を盛り上げます。

1日目は京都駅ビルで「音楽」をメインテーマに、全国学生音楽コンテスト「Kyoto Student Music Award」の開催、ジャズやアカペラ演奏、様々なパフォーマンスの披露をします。新風館では、オリジナル創作みこし「京炎みこし」の初披露、初担ぎを行います。また、祭典2日目の灯祭りでは平安神宮境内、神宮道を飾る灯籠を来場者の方と一緒に作ります。

2日目は「おどり」をメインテーマに、平安神宮・岡崎周辺でノンジャンルのおどりコンテスト「京炎 そでふれ!全国おどりコンテスト」の開催、食べて、遊べる縁日など、すべての世代の方々に楽しんで頂ける企画を多数開催します。

祭の最後に平安神宮境内で行われる**Grand Finale**では、来場者、出演者と一緒に関西学生祭典オリジナル創作おどり「京炎 そでふれ!」を6000人の総おどりで締めくくります。平安神宮を一体感で満ち、すべてのひとへ感動を伝えます。ぜひご来場ください。

【主催】
京都学生祭典実行委員会

【日時・場所】
2007年10月6日(土)
京都駅ビル 13:00~18:00
新風館 12:00~16:00
2007年10月7日(日) 平安神宮・岡崎周辺
11:00~21:00

【お問い合わせ先】
京都学生祭典実行委員会
Tel:075-353-9432
E-mail:festa@consortium.or.jp

◆エコプロジェクト

今年の京都学生祭典では、「楽しくエコ」を合い言葉に、祭を通して、楽しく環境問題に関心を持っていただけるようエコ活動に取り組みます。毎年縁日で問題になる大量のゴミを削減するため、リユース食器を使用し、環境に負担をかけない祭を目指します。

みこしプロジェクトリーダーが「京炎みこし」の魅力語る



本田 淳一
第5回京都学生祭典実行委員会
みこしプロジェクトリーダー
大谷大学文学部2年生

◆京都学生祭典オリジナル創作みこし「京炎みこし」

第3回京都学生祭典で誕生した、京都学生祭典オリジナルのおどり「京炎 そでふれ!」に加え、より地域に根付いた伝統ある「祭」にするべく、第5回京都学生祭典に「京炎みこし」が登場。「京都学生祭典に新たな伝統の灯りを点す」をコンセプトに、京都学生祭典の象徴となるよう実行委員会で制作しました。

そしてこの「京炎みこし」は、京都で学ぶ学生と市民の安寧、さらに京都を活性化させたいという願いをみこしに乗せ、学生たちの力で担ぎます。

10月6日には、新風館にて「京炎みこし」を初披露します。私たちのパフォーマンスにご期待ください。



今年で10周年を迎える国内最大規模の学生映画祭

第10回京都国際学生映画祭



「国際・学生・映画」をキーワードに、京都を中心とする関西の学生が運営する国内最大規模の学生映画祭、「京都国際学生映画祭」は今年で開催10周年を迎えます。国内外の学生が制作した映画・映像作品を上映するだけでなく、制作者と観客がダイレクトに交流できるという点も魅力の一つです。映画の「ミライ」を垣間見せる、学生の作品に期待大!

【主催】
財団法人大学コンソーシアム京都

【企画運営】
第10回京都国際学生映画祭実行委員会

【日時】
2007年11月23日(金)~30日(金)

【場所】
ART COMPLEX 1928(23日~25日)
京都シネマ(24日~30日)

【お問い合わせ先】
第10回京都国際学生映画祭実行委員会
Tel:075-353-9430
E-mail:kisfvf2007@hotmail.co.jp
公式HP:http://kisfvf.com/

実行委員長が魅力を語る



小林 未希
第10回京都国際学生映画祭
実行委員会 委員長
立命館大学文学部4年生

京都を中心とする関西の学生で構成される実行委員会は現在21人で活動しています。大学も年齢も様々ですが、共通するのはみんな映画好きだということ。映画の趣味もそれぞれ違うのでお互い刺激が与え合える環境です。今は映画祭開催までもう間もなくという時期にきて、毎日企画の打ち合わせからチラシ配りまで実行委員がフル回転、過ごす時間の密度も濃くなりました。もちろん楽しいだけではありませんが、その充実感や達成感を共有でき、実行委員会の仲間には私にとってかけがえのないものです。

今年度コンペティションには国内から124本、海外から103本の応募がありました。また、海外作品の特集上映や招待作品も必見です!見ごたえのあるラインナップにはぜひ期待していただきたいです。

学生が京都を動かす!!



初の2会場同時開催！学生が京都の秋を面白くする！

芸術系大学作品展2007 ～ART UNIV.2007～



2000年、「キャンパスプラザ京都」の竣工を記念し、京都の芸術系10大学の合同作品展として始まり今年で8回目を迎えます。また今年度は地域と連携して、木屋町の元立誠小学校との初の2会場同時開催となります。京都の芸術系10大学が集まる年に1度のお祭です。京都の秋を学生の作品が鮮やかに彩ります。

【主催】

財団法人大学コンソーシアム京都 芸術系大学作品展実行委員会

【共催】

立誠・文化のまちプロジェクト運営委員会

【日時】

2007年11月13日(火)～25日(日)

【場所】

①キャンパスプラザ京都 1階 情報交流プラザ(9:00～21:00)

※11月19日(月)は休館

②元立誠小学校(12:00～19:00)

【出展大学】

京都の芸術系10大学

池坊短期大学、京都嵯峨芸術大学、京都工芸繊維大学、京都教育大学、
京都嵯峨芸術大学短期大学部、京都市立芸術大学、京都精華大学、
京都造形芸術大学、大阪成蹊大学芸術学部、成安造形大学

【お問い合わせ先】

財団法人大学コンソーシアム京都

Tel:075-353-9100

公式HP:<http://www.consortium.or.jp/student/art/>

実行委員長が魅力を語る



山本 直樹

芸術系大学作品展
実行委員会 委員長
京都嵯峨芸術大学専任講師

今年で8回目を迎える芸術系大学作品展「ART UNIV.2007」は、京都にある10の芸術系大学から選ばれた若きアーティストたちの作品展です。

本展の特徴の一つは、素材や表現の違う作品がキャンパスプラザ京都内の同一空間に展示されるという、スポーツで例えるなら「異種格闘技大会」。いわばこの作品同士の「対決」は、作者だけでなく鑑賞者にとっても思いがけない空間になっています。

また、今年は木屋町にある元立誠小学校の校舎も展示会場とする2会場同時開催になり、新たな展開を迎えます。これにより、映像やインスタレーション(仮設置)作品が出品可能となり、さらに教室や講堂といった従来の展示とは異なる空間と「対決」することで、地域や場を生かした作品も生まれることでしょう。

個の世界に閉じこもりがちな現代において、彼らは風穴を開けるべくさまざまなものに「対決」しています。その勇姿をご高覧頂けたら幸いです。



京都の街が未来の芸術家を育てる

京都学生アートオークション



昨年より京都の芸術系10大学の学生・大学院生を対象として、芸術家をを目指す学生・大学院生のキャリア教育の一環として「京都学生アートオークション」を開始しました。学生は講座で世界のアートマーケットについて学び、自分の作品を通して社会・市場に触れることができるユニークな企画です。京都の街が京都の学生を育てるといった新たなマーケットが生まれる日は近い!

【主催】財団法人大学コンソーシアム京都

【企画運営】京都学生アートオークションワーキンググループ

◆連続講座

【日時】

第1回…2007年10月20日(土) 「作家とマーケットの関係について」

第2回…2007年10月27日(土) 「オークションについて」

第3回…2007年11月17日(土) 「プレゼンテーションについて」

第4回…2007年12月15日(土) 「出品作品選考会」

第5回…2008年 3月 1日(土) 「事後学習会」

【場所】キャンパスプラザ京都(第4回のみ池坊短期大学を予定)

◆プレビュー・オークション(予定)

【日時】

2008年2月13日(水)～2月17日(日) ※最終日にオークションを開催

【場所】池坊短期大学 むらまちアートコート

【お問い合わせ先】

財団法人大学コンソーシアム京都

Tel:075-353-9100

E-mail:art@consortium.ro.jp

公式HP:<http://www.consortium.or.jp/student/artauktion/>

昨年度の出品者が魅力を語る



榎原 太朗

2006年度
京都学生アートオークション出品
京都精華大学卒

昨年度、第一回目の京都学生アートオークションに参加できたことは、今の私の大きな励みになっています。

私は作家になりたいと思っていました。好きな絵を描いていきたい。絵を描くことを仕事にしていきたい。学生の時はそんな想いが頭の中を駆け巡っており、試行錯誤していました。

そんな時に知った前代未聞のこの企画。自分の作品は他人の目にはどう映るのか。目に見える形で現実を突きつけられたい自分には絶好の機会でした。

結果は最高の評価をいただきました。自分のやってきたことはこれで良かった、そして評価をしてくださった方々にも、これからの自分に期待していただけている、私はこの結果をそういう意味で捉えています。

卒業後、私は東京で制作活動をしています。皆さんのご期待以上の活躍ができるよう、これからも頑張っていくつもりです。

京都学術共同研究機構 共同研究プロジェクト報告会を開催

京都学術共同研究機構においては、新たな京都の創造・創生を期する研究の推進を図り、遂行するために、共同研究プロジェクトの公募を2005年度より(2006年度研究開始)行ってまいりました。

現在、京都学術共同研究機構においては、公募による研究が4件、公募研究以前より行なってきた財団委託の研究が2件、あわせて6件(うち2件は今年度より研究開始)の共同研究プロジェクトを行なっています。そのうち、今年度の継続が認められた下記の4件について、7月17日(火)にキャンパスプラザ京都において、報告会を開催いたしました。

当日は、プロジェクトリーダー及び共同研究者から、これまでの研究成果について、プレゼンテーションソフト等を使用しながら、わかりやすい説明と報告がありました。研究開発委員会をはじめ、京都学、21世紀学、都市政策の各研究推進部会の委員の方々も、報告者の発表に熱心に聞き入っており、盛況のうちに幕を閉じました。

今回報告のあった4つの共同研究プロジェクトについては、2006年度の研究成果を今年度秋に中間報告として取りまとめ、最終の研究成果については来年度発行される「京都学術共同研究機構紀要」への掲載を予定しています。

No	研究課題	プロジェクトリーダー	種別	担当部会
1	京都門前町総合調査プロジェクト	代理 杉本 理 (大谷大学講師)	財団委託	京都学
2	京都議定書第一約束期間後の地球温暖化防止の国際制度の研究	高村ゆかり (龍谷大学教授)	財団委託	21世紀学
3	京都の伝統芸能をコアとした海外向けポータルサイト構築・運用実証実験	赤間 亮 (立命館大学教授)	公募研究	21世紀学
4	移動体メディアへの仏教関連コンテンツの配信に関わる学際的・学融合的研究	松川 節 (大谷大学准教授)	公募研究	21世紀学



プ
ラ
カ
レ
あ
れ
こ
れ

大学コンソーシアム京都では、様々な教養を身につけたいとお考えの方を対象に、体系的かつ専門的な生涯学習プログラムを「プラザカレッジ」として展開しています。

プラザカレッジ21世紀学講座

きずな
『絆』

—共に生きるための
ネットワーク作りをめざして—

【場 所】キャンパスプラザ京都
【開講時間】14:00～15:30
【定 員】250名(先着順)
【受講料】全8回受講事前受付8,000円、当日受付1,500円

喪失からの再生・新生

現代社会では、親子、兄弟、隣人といった人と人との繋がりが弱くなっています。また、心と心の結びつきが失われつつあると言われていています。様々な社会問題が起こる背景には、そういった「絆」の問題があることを私達は決して無視することはできません。では、本来あるべき人と人との繋がりはどのようなものなのか。あるいは心と心の結びつきはどういったものであるべきなのか。

2007年度プラザカレッジ21世紀学講座では人の一生、ライフステージ(誕生～臨終期)の中で「絆」を考えていきます。

第1回	10月28日(日)	誕生	母と子の絆は、地球を救う 佐藤 香代氏(福岡県立大学看護学部教授)
第2回	11月 4日(日)	幼年期	“つながり”を育む喜び — 家族が共有する記憶 — 梶井 祥子氏(北海道武蔵女子短期大学准教授)
第3回	11月11日(日)	就学期	いじめ問題を通して、子どもたちの人間としての絆を考える 原 清治氏(佛教大学教育学部教授)
第4回	11月18日(日)	青年期	青年期における同一化形成と関係性 溝上 慎一氏(京都大学高等教育研究開発推進センター准教授)
第5回	11月25日(日)	成人前期	WEDDING NOW — 時代と共に変わる結婚式 — 渡部 隆夫氏(ワタベウェディング㈱代表取締役社長)
第6回	12月 2日(日)	壮年期 (中年期)	絆と豊かな人生 細見 吉郎氏(京都広告協会理事長)
第7回	12月 9日(日)	老年期	“老い”という人の完熟を考える 樋口 和彦氏(京都文教大学学長)
第8回	12月16日(日)	臨終期	絆 — 死にゆく力、看取る力 浜本 京子氏(日本バプテスト病院 牧師・チャプレン)

プラザカレッジ京都学講座
全国プロジェクト

京都学研究を単に地域学として京都の枠内にとどめるのではなく、京都から全国・全世界に発信し、他地域との積極的な交流を推進することにより、「京都学」について一層の考察を深めていくために2007年度は名古屋市において京都学・全国プロジェクトを企画しました。

『京都学・全国プロジェクト in 名古屋』

徳川家康の命を受けて建設された二条城と名古屋城は、日本建築史・絵画史・工芸史上、最も豪華華麗といわれる桃山文化の粋が集められています。世界文化遺産や国宝、そして重要文化財に指定されているものが数多くあり、桃山文化の双壁をなしています。とりわけ、名古屋城の本丸御殿は国宝第一号の建築物であったが戦火で消失しました。しかし築城400年を迎える2010年、本丸御殿の復元に着手されようとしています。

そこで今回、大学コンソーシアム京都では、二条城と名古屋城と題して、絵画・茶室・工芸の領域について解説していく連続3講座を開講します。



二条城
元離宮二条城事務所所蔵



名古屋城

開講日 10月21日(日)《狩野派の障壁画》狩野 博幸氏(同志社大学文化情報学部教授)
10月27日(土)《桃山の華と侘び一御殿と茶室》日向 進氏(京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科教授)
11月25日(日)《工芸一飾金具の爛熟》久保 智康氏(京都国立博物館工芸室長)

開講時間 14:30～16:00

会 場 マナハウス マナイベントホール(名古屋市中区錦)

受講料 1,000円

Information

近日開催予定の行事・イベント

詳しくは、財団法人 大学コンソーシアム京都 (<http://www.consortium.or.jp>) を参照してください。

「第5回SD(スタッフディベロップメント)フォーラム」開催のご案内

5回目を迎える今年度のSDフォーラムでは、「大学運営におけるリーダーシップと大学改革」をテーマとし基調講演を行うとともに、6つの分科会を設け、「入試改革と事務職員の役割」、「大学経営を睨んだ就職支援戦略」、「大学広報におけるブランディング戦略-大学改革と戦略的広報活動-」、「中小規模大学のリーダーシップと大学改革」、「大学のアイデンティティと大学改革」、「法人化のインパクト～一人一人が変われば組織が変わる～」について、各分野で先進的な取り組みを行っている大学より事例報告をいただきます。事例報告後に参加者全員で意見交換を行い、SDフォーラムで得られた成果を今後の個別大学・短期大学における人事政策や人材育成に活かしていただくことを目指します。

開催日 2007年10月14日(日) 10:00～17:30
会場 キャンパスプラザ京都
テーマ 大学運営におけるリーダーシップと大学改革

京都の大学「学び」フォーラム2007 京都会場

開催日 2007年10月27日(土) 9:00～17:00 ※入場開始8:30～
会場 大谷大学
主催 財団法人大学コンソーシアム京都
共催 京都高大連携研究協議会
URL <http://www.consortium.or.jp/examinee/manabi/index.html>

芸術系大学作品展2007～ART UNIV.2007～ 実施概要

会場及び開催日 ①キャンパスプラザ京都 1階 「情報交流プラザ」
2007年11月13日(火)～11月25日(日) 9:00～21:00
②元立誠小学校
2007年11月13日(火)～11月25日(日) 12:00～19:00
主催 財団法人大学コンソーシアム京都 芸術系大学作品展実行委員会
共催 立誠文化のまちプロジェクト運営委員会(予定)
京都市:プロジェクト推進室、文化芸術企画課、学校統合推進室
地 元:自治連合会等(4～5名)
後援 京都市(予定)
協賛 株式会社フラットエージェンシー
出展大学 京都内芸術系10大学
池坊短期大学/京都嵯峨芸術大学/京都工芸繊維大学/京都教育大学
/京都嵯峨芸術大学短期大学部/京都市立芸術大学/京都精華大学/
京都造形芸術大学/大阪成蹊大学芸術学部/成安造形大学

インターンシップ・プログラム「トライアルコース」開催のご案内

大学コンソーシアム京都では、夏期にインターンシップ実習を行う「ビジネスコース」や「パブリックコース」、半年間の長期に渡るプロジェクト型インターンシップ「プロダクトコース」に加え、今年度より「トライアルコース」を本格的に実施します。
この「トライアルコース」は、昨年より試行的にスタートしたプログラムで、短期大学生や四年制大学の1年次生に対し、職業観や自らのキャリア形成に対する「気づき」を与えることを目的とするコースです。冬期の短期体験型ですので、実習期間も最低5日間と短めで、短大生が「出願しやすい」プログラムとなっています。また、「マッチング会」を開催し、直接受け入れ先と学生が面談を行って、実習日や内容を相談できるほか、夏のプログラムと同様、京都地域の大学生・短大生が混じってゼミを編成し、事前・事後学習、リスクマネジメント講座、ビジネスマナートレーニングなど、今後の学生生活やキャリア形成を考える上で必要な学習を集中的に行います。
今年も11月からの開講に向けて、10月より実習生を募集します。ぜひ多くの学生、短大生の出願をお待ちしております。

講義日時 金曜日クラス・・・11月23日・30日・2月22日・3月2日
日曜日クラス・・・11月25日・12月2日・2月24日・3月2日
<内容>オリエンテーション、レポート(事前・事後)の作成、リスクマネジメント講習、フィールド研究、ビジネスマナートレーニングなど
出願対象 加盟短期大学(専攻科を含む)1・2年次生ならびに四年制大学1年次生
出願締切 10月31日(水)17:00まで(郵送の場合・・・同日必着 *時間厳守)
マッチング会 11月10日(土)・11日(日)9:30～12:00
受講手続 11月20日(火)・21日(水)15:00～19:00
実習期間 12月18日(火)～2月21日(木)のうち5日間～1ヶ月程度

※詳しくは、「インターンシップ実習生募集ガイド」または本財団ホームページをご覧ください。その他ご不明な点等ございましたら、インターンシップ事業推進室(TEL:075-353-9106)までお問い合わせください。

「留学生のためのキャリア支援企画」開催のご案内

京都で学ぶ外国人留学生にとって、卒業後の就職の問題は大きな問題であり様々な支援策がとられています。大学コンソーシアム京都では今秋下記のとおり連続の留学生のためのキャリア支援企画を開催します。

◆留学生のためのキャリアサポート講座(ビジネス日本語講座)

開催日 11月27日(火)～12月1日(土)18:20～21:30
プログラム 【第1回】11月27日(火)日本での就職活動について
【第2回】11月28日(水)ビジネス日本語講座①
【第3回】11月29日(木)ビジネス日本語講座②
【第4回】11月30日(金)ビジネス日本語講座③
【第5回】12月1日(土)就職活動への具体的対策について

◆外国人留学生のための就職ガイダンス&ジョブフェア

開催日 2007年12月7日(金)10:30-17:00
会場 京都市国際交流会館
プログラム 就職ガイダンス・・・10:30～15:30
ジョブフェア ……12:00～15:45
懇親会 ……16:00～17:00

◆留学生のための「京都の企業見学会」

開催日 2007年12月18日(火)～20日(木)
訪問企業(予定) 中西印刷、大日本スクリーン製造、京都中央信用金庫、インダ、ワコール

第5回 高大連携教育フォーラム

「第5回高大連携教育フォーラム」は、毎回、全国各地から高校・大学の関係者が多数参加し、高校・大学間の接続・導入教育における「国内動向の情報共有と京都における取り組みの情報発信、および事例研究」を開催趣旨として、大学コンソーシアムも加盟する「京都高大連携研究協議会」の主催により開催されています。

今回、第1部では加速的に広がりを見せてきた高大連携の現状を考える基調報告と、今後の高大連携のあり方について各方面から検証するシンポジウム形式で開催します。また、第2部では5つのテーマ設定から事例研究する分科会に、新たに入試が直面する課題と可能性を高校・大学の双方間で考える分科会を設定して開催します。

開催日 2007年12月7日(金)13:00～17:30
会場 キャンパスプラザ京都
プログラム 第1部

【基調報告】テーマ「大学教員による出張講義の実態と課題」
報告者 内村 浩氏(京都工芸繊維大学准教授)

※基調報告終了後シンポジウムや事例発表も予定しています

第2部

【分科会テーマ】

第1分科会「日本語表現」から「言語力」へ
第2分科会「高大数学教育の接続の可能性を具体的実践から探る」
第3分科会「英語による自己表現能力をどのように育成するのか」
第4分科会「理科教育における高大連携の新たな可能性を探る」
第5分科会「高校・大学にとってのキャリア再考」
第6分科会「入学者選抜における高大連携の可能性」

URL <http://www.consortium.or.jp/examinee/kodai/forum.html>

「京都の歴史と文化にふれる二条城見学会」開催のご案内

二条城はユネスコの世界遺産に登録されている京都の歴史遺産です。今回は、二条城にまつわる伝統と文化についての講座と二条城特別見学会をセットにして、京都で学んでいる留学生および海外留学を予定している学生を対象として開催します。

開催日 2007年12月12日(水)、13日(木)、14日(金)

Campus Scene



池坊短期大学
池坊短期大学は、文化芸術と環境文化の2学科10コースを設置。「和」と「美」の世界を体現し、学びの中で、教養を磨き、価値観を涵養し、専門知識と職業能力が身につく大学です。表紙は、生き生きとした学生が、エントランスを吹き抜ける風のように、さわやかな笑顔で未来に歩む、そんな一コマを切り抜きました。背景の建物は、モダンなイメージの中にシックな雰囲気を醸し出す、まさに池坊短期大学を表現する校舎です。